

2023年



6月

県内86,193筆

2023年5月10日 現在

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名



平の大根

発行 原水爆禁止愛知県協議会
発行人 佐竹康行
〒461-0004
名古屋市東区葵1-22-26
Tel(052)932-3219
Fax(052)931-2651
gensuikyo@lime.ocn.ne.jp
毎月1回 6日発行
月40円/年間480円

被爆者の声を聞き 禁止条約に参加を！

G7広島サミットに合わせ
て署名・宣誓行動

5月13日（土）、日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める愛知県民の会が「G7広島サミット開催に呼応！被爆者の声を届ける愛知行動」を、名古屋市・栄スカイル前で12時30分から1時間行いました。

愛友会の金本弘理事長は「岸田首相は『広島出身』と言っているが、何もしていない。一刻でも早く禁止条約に日本も参加してほしい」と訴え、愛労連の西尾美沙子議長は「77年前、核兵器によつ

名古屋市職労、県平和委員会、県原水協から21名が参加し、署名を訴えたがら宣伝しました。

て多くの尊い命が奪われたことを忘れてはならない。G7サミットの議長国として、被爆国としての日本の責任を果たしてほしい」、平和委員会責

て多くの尊い命が奪われたことを忘れてはならない。G7サミットの議長国として、被爆国としての日本の責任を果たしてほしい」、平和委員会責任・学生部の澤村さんは「G7で各国首脳や要人は原爆資料館を見学する予定。人類と核は共存できないことを学んでほしい。何よりも被爆者の『核兵器をなくしてほしい』という声を聞いてほ

しい」と、署名への協
とともに栄を歩く人々
訴えました。

G7各国に核廃絶迫る広島首脳会議を前に市民集会

「G7広島サミットを考
えるヒロシマ市民の会」
と日本原水協、広島原水
協は14日、広島市内で
「G7広島サミットに被
爆地の声を」と題した市
民集会を開き、核兵器廢
絶を求めるアピールを採
択しました。

きだと語りました

「平和はつくれない」で
広島県原爆被害者団体
議会の佐久間邦彦理事長
は、被爆者ゆえに差別
された経験を語り、「核
兵器はなくすしかない」
強調しました。

ジャーナリストの小美砂さんは、放射能をこむ「黒い雨」の身体的影響は明確になつていないと指摘し、原爆被害者早期救済を訴え。核政策を知りたい広島若者有



「被爆者も
世論も無視」

5月21日、安井日本原水協事務局長がG7閉会にあたり、談話を発表しました。

爆資料館の訪問、被爆者との面会はなされたが、最大の焦点である核兵器の禁止・廃絶に関する岸田首相が繰り返した「被爆地から力強いメッセージを発信する」どころか、被爆者や国民が期待した新たな努力は一切なく、逆に核抑止力論を公然と宣言するサミットとなつたことは極めて遺憾と強く抗議しました。

また、これまでNPT再検討会議の中でサミット参加国も含め合意されてきた「核兵器国による「自國の核軍備の完全廃絶」（2000年）、「核兵器のない世界の平和と安全」の達成とそのための「枠組」の確立の努力（2010年）などは無視し、具体的な核廃絶への道のりには一切触れず、岸田首相が提唱した「ヒロシマ・アクション・プラン」も、自国の安全をアメリカの核兵器「核の傘」に依存しながら、「核兵器のない世界」を追求するという矛盾に蓋をする「まかしであり、結局、米国の大統領政権（バイデン政権）に忖度して、核兵器の非人道性の告発も核兵器禁止・廃絶も提起せず、G7議長として「広島ビジョン」の推進者となつた岸田首相は、被爆地出身の総理大臣としての資格はない」と批判しました。



5月20日、愛知県原水被災者の会（愛友会）の第58回定期総会が開かれました。参加者は、被爆者、2世、支援者合わせて25名でした。

始めに、昨年亡くなられた106名の愛知県在住の被爆者に默とうを捧げました。愛知県在住の被爆者手帳を持っている被爆者は2023年3月末の時点で1,438名です。

参加団体からのあいさつで、被爆者支援ネットの長尾さんは「大学生の時に平和運動に参加し、41年が経っているがまだ核兵器は無くなつていなさい。もっと頑張つていかないといけない」、佐竹県原水協事務局長は「被爆者と共にがんばつていい」と連帯のあいさつをしました。

総会アピールでは、被爆者は単なる生き残りではなく、「人類の危機を救う」と決意して、核兵器廃絶、平和な世界と日本の実現を求め歩み続けた者たちで、日本核兵器禁止条約への参加、「ふたたび被爆者をつくること」を求め続けました。

5月20日、愛知県原水被災者の会（愛友会）の第58回定期総会が開かれました。参加者は、被爆者、2世、支援者合わせて25名でした。

始めに、昨年亡くなられた106名の愛知県在住の被爆者に默とうを捧げました。愛知県在住の被爆者手帳を持っている被爆者は2023年3月末の時点で1,438名です。

参加団体からのあいさつで、被爆者支援ネットの長尾さんは「大学生の時に平和運動に参加し、41年が経っているがまだ核兵器は無くなつていなさい。もっと頑張つていかないといけない」、佐竹県原水協事務局長は「被爆者と共にがんばつていい」と連帯のあいさつをしました。



5月20日、愛知県原水被災者の会（愛友会）の第58回定期総会が開かれました。参加者は、被爆者、2世、支援者合わせて25名でした。

始めに、昨年亡くなられた106名の愛知県在住の被爆者に默とうを捧げました。愛知県在住の被爆者手帳を持っている被爆者は2023年3月末の時点で1,438名です。

参加団体からのあいさつで、被爆者支援ネットの長尾さんは「大学生の時に平和運動に参加し、41年が経っているがまだ核兵器は無くなつていなさい。もっと頑張つていかないといけない」、佐竹県原水協事務局長は「被爆者と共にがんばつていい」と連帯のあいさつをしました。



5月20日、愛知県原水被災者の会（愛友会）の第58回定期総会が開かれました。参加者は、被爆者、2世、支援者合わせて25名でした。

始めに、昨年亡くなられた106名の愛知県在住の被爆者に默とうを捧げました。愛知県在住の被爆者手帳を持っている被爆者は2023年3月末の時点で1,438名です。

参加団体からのあいさつで、被爆者支援ネットの長尾さんは「大学生の時に平和運動に参加し、41年が経っているがまだ核兵器は無くなつていなさい。もっと頑張つていかないといけない」、佐竹県原水協事務局長は「被爆者と共にがんばつていい」と連帯のあいさつをしました。

2023年世界大会パンフレット & ピンバッジ

戦争か平和か、核兵器の廃絶かそれとも「核抑止力」の名で絶滅の危機にひた走るのか、重要な意義を持つ大会になります。

核兵器廃絶は被爆者の願い、平和を求める国民の声です。

核兵器禁止条約に参加する

日本政府を実現させるおおきな行動をひろげましょう。

◆B5版 22ページ フルカラー

頒価 250円 ※送料実費

世界大会記念ピンバッジ

NONUKES・PEACE

核対核ではなく平和外交を！

◆頒価 300円 ※送料実費

NO NUKES

2023 PEACE



2022年度の活動報告と2023年度の運動方針の提案を金本理事長が行い、8月の原爆展、9月の原爆犠牲者を偲ぶつどい、11月の被爆者行脚など滞りなく実施できました。一方、各市の支部組織での解散を目の当たりにし、被爆者の高齢化がもたらす影響に直面しました。また、「黒い雨」による「原爆忘れまじ」の復刻版がNHKのニュースで取り上げられるなど、目に見える成果もあったことが報告されました。

最後に、伊藤定實副理事長が「来年また顔が見られるように、がんばりましょう」とあいさつをして閉会となりました。

総会の後には交流会が行われ、参加していた被爆者からは被爆地や被爆の状況などが語られ、はじめて参加した2世の方からは、母が広島で「黒い雨」を体験しているなどの発言があり、「被爆者だけではなく被爆者のためにどうするのかを考えるべきと強く思つた」などとの感想がありました。

核センターの運動が粘り強く続けてこられたこと、がよく分かつた」「平和のためにどうするのかを考えるべきと強く思つた」などとの感想がありました。

被爆80年に向け、運動の推進を 第58回愛友会定期総会

あいざれん総会で 被爆体験を語る

地域で粘り強く活動 濑戸反核センター

中高生が全国で署名行動 声をあげよう！高校生署名

5月20日、愛知県原水被災者の会（愛友会）の第58回定期総会が開かれました。参加者は、被爆者、2世、支援者合わせて25名でした。

始めに、昨年亡くなられた106名の愛知県在住の被爆者に默とうを捧げました。愛知県在住の被爆者手帳を持っている被爆者は2023年3月末の時点で1,438名です。

参加団体からのあいさつで、被爆者支援ネットの長尾さんは「大学生の時に平和運動に参加し、41年が経っているがまだ核兵器は無くなつていなさい。もっと頑張つていかないといけない」、佐竹県原水協事務局長は「被爆者と共にがんばつていい」と連帯のあいさつをしました。

5月20日、愛知県原水被災者の会（愛友会）の第58回定期総会が開かれました。参加者は、被爆者、2世、支援者合わせて25名でした。

始めに、昨年亡くなられた106名の愛知県在住の被爆者に默とうを捧げました。愛知県在住の被爆者手帳を持っている被爆者は2023年3月末の時点で1,438名です。

参加団体からのあいさつで、被爆者支援ネットの長尾さんは「大学生の時に平和運動に参加し、41年が経っているがまだ核兵器は無くなつていなさい。もっと頑張つていかないといけない」、佐竹県原水協事務局長は「被爆者と共にがんばつていい」と連帯のあいさつをしました。

5月20日、愛知県原水被災者の会（愛友会）の第58回定期総会が開かれました。参加者は、被爆者、2世、支援者合わせて25名でした。